

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和6年1月22日（月）13：30～14：30
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
松田室長補佐、横山係長  
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名
5. 要旨：
  - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
    - タービン建屋東側における地下水、排水路及び海水中の放射性物質濃度の状況
      - ✓ 地下水における全 $\beta$ の分析結果について、一部の地点では報告期間中において一時的に値が上昇したが、現在は上昇前の値と同程度である。今後も引き続き、建屋内水位との関係や周辺工事による影響等を確認し、推移を注視する。
  - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認を行うとともに、以下のコメントを伝えた
    - ✓ 地下水等分析結果の上昇に伴い実施している変動要因の検討について、今後実施する本面談において検討結果を原子力規制庁へ報告すること。
  - 東京電力より、上記コメントについて了解した旨の回答があった。
6. その他  
資料：
  - 環境線量低減対策スケジュール
  - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
  - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2023年12月）
  - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2023年12月評価分（詳細データ）
  - 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
  - 参考 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況につ

いて

以上